福原 麻由
留学先：チェコ生命科学大学(CZU)
科目名：情報学
2022年 6月11日

ロータリー月例報告書 Vol. 9

先週から待ちに待ったプラハでの留学生活がようやく始まりました。大学の授業が今学期の途中からオンラインではなく対面式に切り替わったため6月は大学でテストを受ける必要があり、そのために観光ビザで渡航しました。実際にはまだ長期滞在ビザは発行されておらず引き続き結果を待っているため、今回の渡航は最終手段として考えていた観光ビザでの渡航というかたちになりましたが、ようやく現地に来られたという喜びが大きいです。そのため渡航してすぐにテストを受ける必要があるため毎日勉強に費やす時間が大半です。とはいえ現地に到着して生活に必要なものを揃えるため、すでに現地にいる友人に街を案内してもらいスマホの契約などを済ませて来ました。その時に観光地として人気なカレル橋やプラハ城を案内してもらいました。ちょうど休日だったということもあり、プラハ中心部は大変賑わっていて、現在は大学などが夏休みということもあり旅行者が多いように感じました。

この写真は中心部からプラハ城に向かう道中です。この建物のアーチの向こう側にはプラハ城まで行列ができており、観光地としての人気ぶりを実感しました。プラハに到着してからは中心部からは遠い日本人宿に数日宿泊していたので、あまりプラハらしい景色を見ることがなかったのですが、中心部に来るとプラハでしか見られない景色に感動しました。写真の中だけでしか見たことのないヨーロッパならではの建造物の連なりや石畳、モルダウ川をつなぐカレル橋の周りには自然も多く、ひと昔前にタイムスリップしたような景色に圧倒されると同時に、辺り全体の美しい景観の在り方は地元の美瑛にどこか似ているように感じる部分もあり心が落ち着きました。

現地に同じクラスの友人がいるのは大変心強いです。見知らぬ土地で分からないことだらけですが、無事に最低限の用事を済ませることができました。また、大学やテストについてなどもアドバイスをもらえたので大変ありがたかったです。

6月に入ってからは、学生寮に移動し大学にも行きました。ルームメイトは気さくで親切な人で安心して生活を送ることができています。また、テストのスケジュールは少しタイトですがなんとか進めています。現地に来てよかったと思えることの一つが整った環境です。例えば寮や大学で勉強をしていると質問したり勉強を教え合ったりできるため勉強が捗ると実感しています。日本にいた時も積極的に交流をしていたのですが、やはり実際に同じ空間で勉強することにより質問しあったり勉強したことをアウトプットする相手がいるとより知識が身につくと感じています。そのような仲間が周りにいるのは大変良い環境だと実感すると同時に、一人で勉強をしていた時はあまり重点を捉えられていなかったと気がつきました。特にあまり得意ではない強化ほど要点を外れたまま独自で勉強を進めていたようで、テスト目前になって勉強をしなおしていることもあります。以前から渡航していた学生の多くは既にテストを終わらせている人も多く、一緒に勉強をしてくれたりと助けてもらっています。そんな周りの友人や遠くからでもサポートをしてくださっている皆様に感謝をすると同時に、無事にテストを終えられるよう勉強に励みます。最後に、初めて大学を訪れた時は、一年発起した夢が叶った喜びが再び湧いてくるような気持ちになりました。この時の気持ちを忘れずに、残りの2年間を有意義に過ごします。